

月詠さん  
いやらしい事  
が  
話  
されてしま  
う

※18歳未満の購読を禁じます  
著 かつおぶし

月  
録  
さん  
が  
の  
話  
を  
知  
り  
ま  
し  
た  
よ  
う  
な  
事  
が  
あ  
る  
の  
で  
し  
よ  
う

野郎がああ晩  
言いやがったん  
ですよ

『おまえが今  
仕込んでいる女』

『オレの情婦に  
寄越せ』

へへ…  
気付いたら  
殺っちまって  
ましたよ

最初はただ  
仕込んで売る  
つもりだったん  
ですがね…

いつの間にか  
オレの方が虜に  
なっちまってた

相手を  
壊してでも  
手に入れてえ…

そうゆう  
愛し方しか  
出来ねえ男  
なんでさあ…

わかり  
ますかあ…

ねえ…  
旦那あ…



わか  
かん  
ねー  
よ



しばし  
気を失って  
しまったか

だがお陰で  
体力はかなり  
回復出来た

そして  
あの男の気配が  
消えている今



まさに  
脱出の好機



戻って  
来おったな

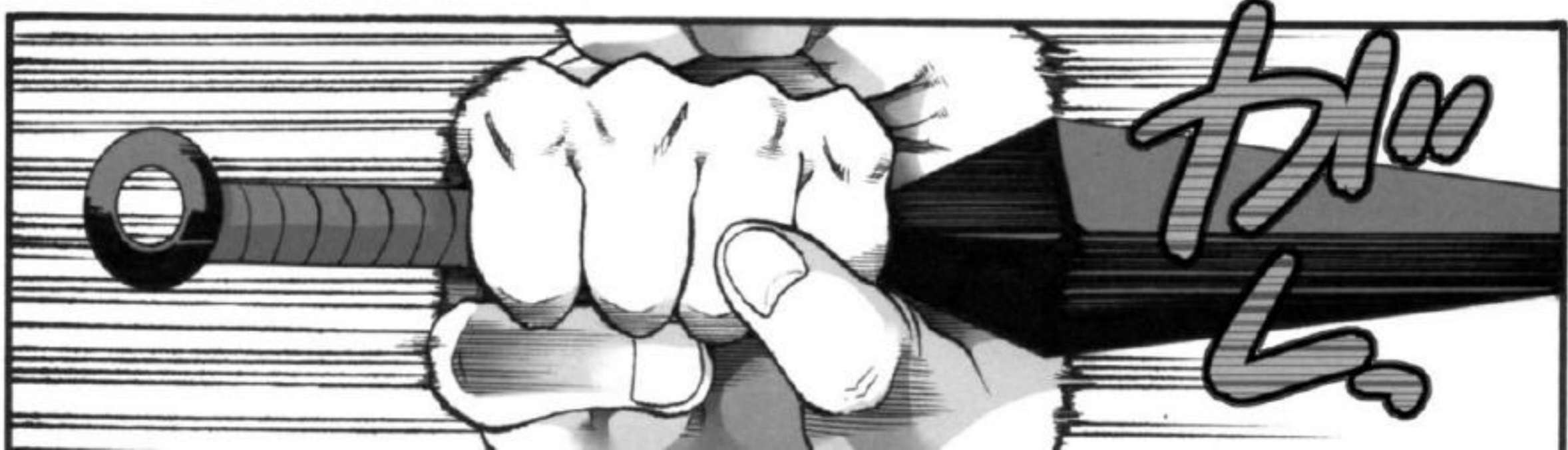
出入り口は  
ここひとつ

鉢合わせは  
避けられぬか



一撃分の  
力しか戻って  
おらぬが...

賭けるしか  
あるまい...!!





相変わらず  
危ねえ女だな



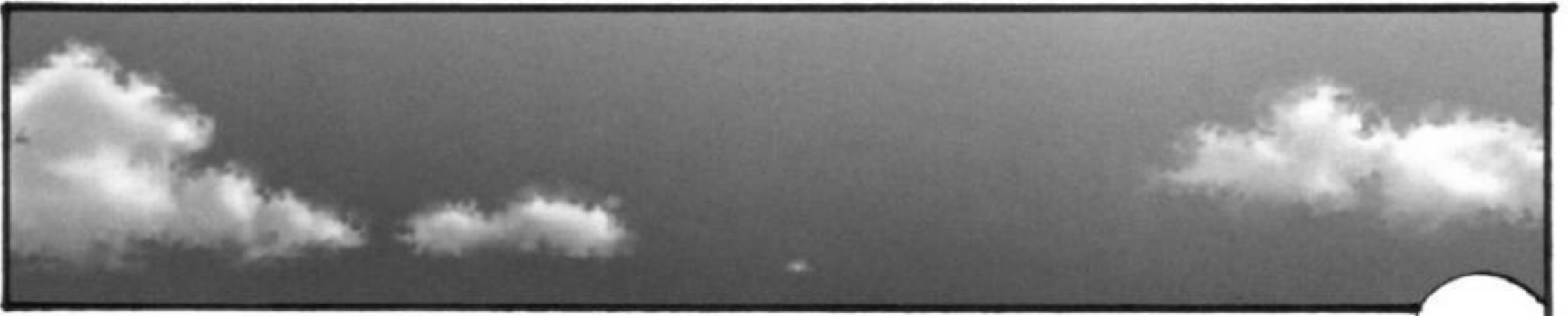
あ……

まあでも  
元気そうで  
何よりだ

ああ……



待たせたな



済まぬな  
下手を踏んで  
しまった



気にすんな  
お陰で日輪から  
報酬がたんまりだ  
これでツケが  
払えらあ



!



無理  
すんなよ

が

あ：  
……  
済まぬ



……仔細は  
聞かぬのか？



面倒  
くせえな



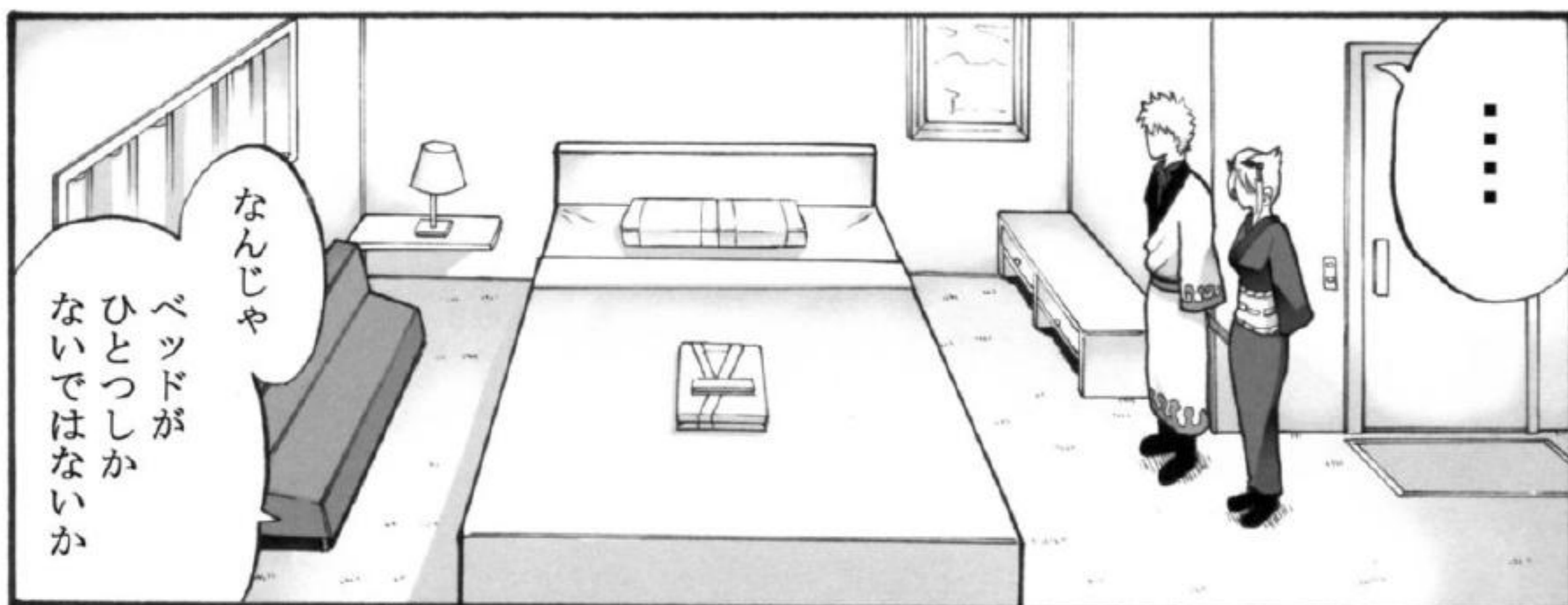
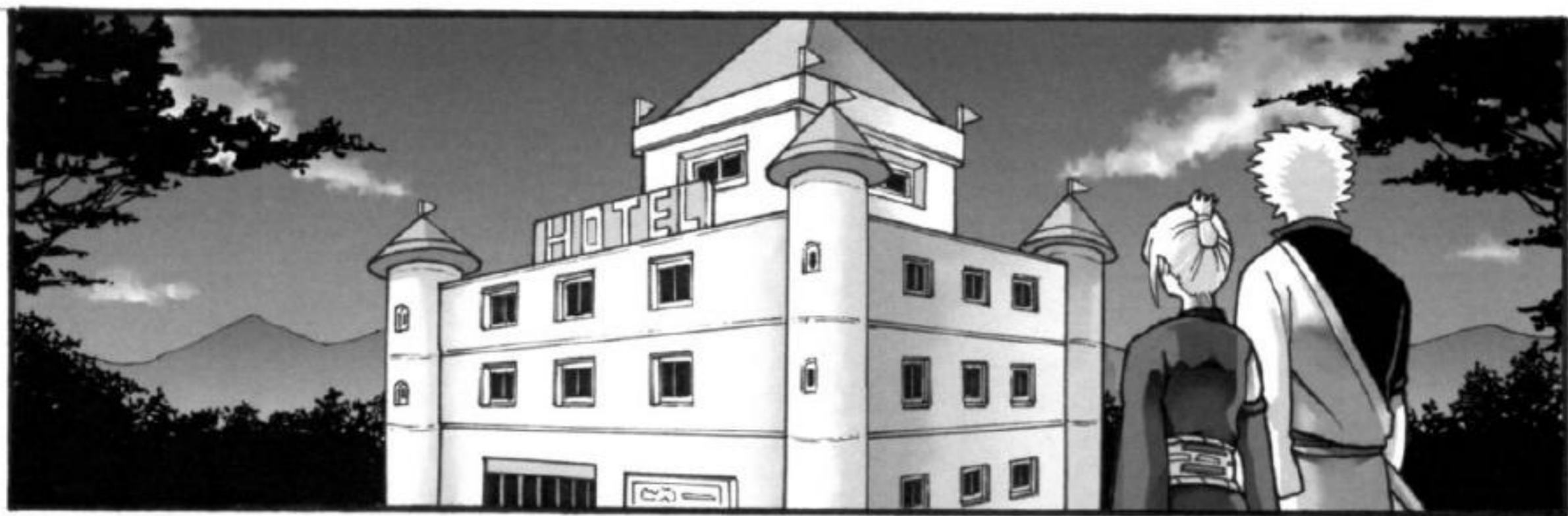
人間生きてれば  
色々あんだろ  
話したけりや  
聞いてやる  
けどよ

そうか……



！  
向こうに  
明かりが  
見えるぜ  
休んで  
行くか

ああ  
助かる







では  
そうすると  
しようか

覗くなよ

しつげーな！  
覗かねーよ！

全く…

喉が渴いて  
きちまった  
じゃねーか



はあー  
生き返る

もう一睡も  
すれば  
全快するか

香が抜けるには  
まだ当分かかり  
そうじゃな…

ん…

ふう…



なんじゃ？  
どうした  
銀時？

しばし待て！  
今出る！

おい！

待てと  
言うておる  
だろうが！



なっ…銀時ッ…!?  
己が何をしているか  
わかっておるのか?

ぬしは  
気でも  
違ったか…!?

!!

!!!



墮淫香ッ!!!

銀時の阿呆めが  
一本空けたのか!  
どうりであの様子!  
正気が飛んだか!?



しばし待てと  
言うておろう!  
聞いておるのか!

とりあえず  
外に出ろ!  
それ以上は  
近付くな!



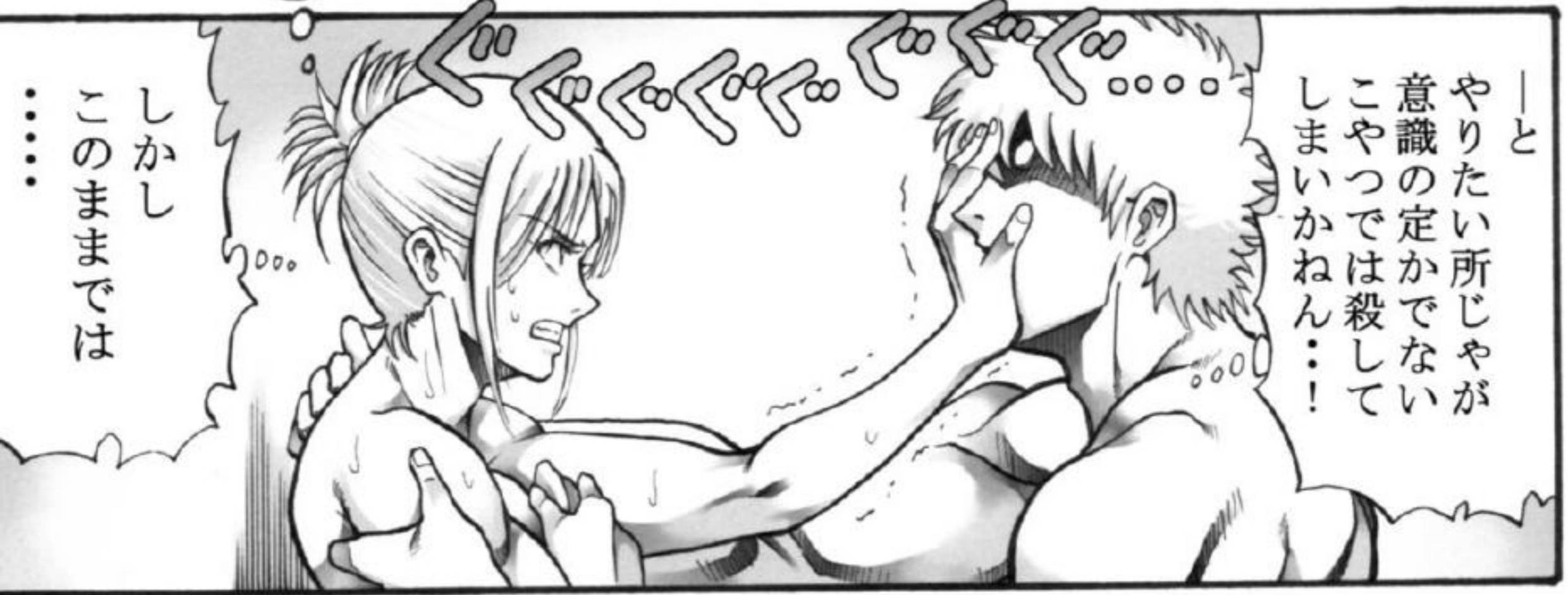
近づくなと!

言うておる  
じゃろうが!

カ!!

スバッ!!

ゴッ



ーと  
やりたい所じゃが  
意識の定かでない  
こやつでは殺して  
しまいかねん:!!

しかし  
このままでは  
...

ぐぐぐぐぐぐ...



あ:あ:  
やめい:

ぬし!!

どこを触って  
おるっ:!!

あ...

あ:こら:  
銀:時:

やめいと  
言って:

んっ:!!

あっ!

ぐ

ぐ

あつ……  
やめぬか  
銀時……!

あ!

何を擦り  
つけておる!

まさか  
ぬし……

いかん……  
わっちもまだ香が  
抜けておらん

このまま  
流されては  
ならぬ……!

だめじゃと  
言うておる  
だろうに……

あつ

はあ

ちゅ……

ちよつと……くっ……  
待て……っ!  
当たっておるぞ!

だめじゃぞ  
それだけは!

だめじゃ  
……!!

だめ……

あ……

あつ

ん……くっ……  
聞こえて……んっ……  
おらぬか……



ああ：  
やはり：

はあ

香の効き目が  
ぶり返して  
きておる

あつ  
はつ

あん

あこらつ…  
止めよ…!

こやつが  
わっちの中を  
蹂躞する度

あつ  
はあ

あつ  
あん

んん…くっ…  
うんっ…

あ…待っ…  
待てっ…!

耐え難い悦楽が  
押し寄せて  
来よるっ…!

少しは遠慮  
せぬか…!

あつ

はあ

はあ

いかぬ…  
このままでは

はあ

はあ

わっちまでが  
性欲の虜に  
堕ちてしまう





こんなにも  
力任せに犯され  
続けては……

やめい……  
と……っ……

あっ  
ズン

言うておる……  
の……っ……

ん  
あ

こやつに女に  
なってしまう  
ではないか……!

あっ はあっ



はあ  
んた……

はあ  
はあ

なんとか  
終わった

これで  
正気に……



あ…

ふっ

もうっ…!!

何度出せば  
気が…あっ…  
済むんじや…!!

あんっ!

あっ

この…んっ…  
はあっ…!!

んんっ…くっ…  
大ぼかっ…あ…  
ものめっ…!!

はあ!



あっ ああ  
んっ…!!

あ  
あっ…んっ…  
よくも…  
こんな…

ああ…もう  
何度イったか  
すらわからぬ

あっ

愛液が  
音を立てて  
溢れ出おる

はあ

あ

…つくそう…  
後で…あう

憶えて…  
おれよっ…!!

あっ

はあ

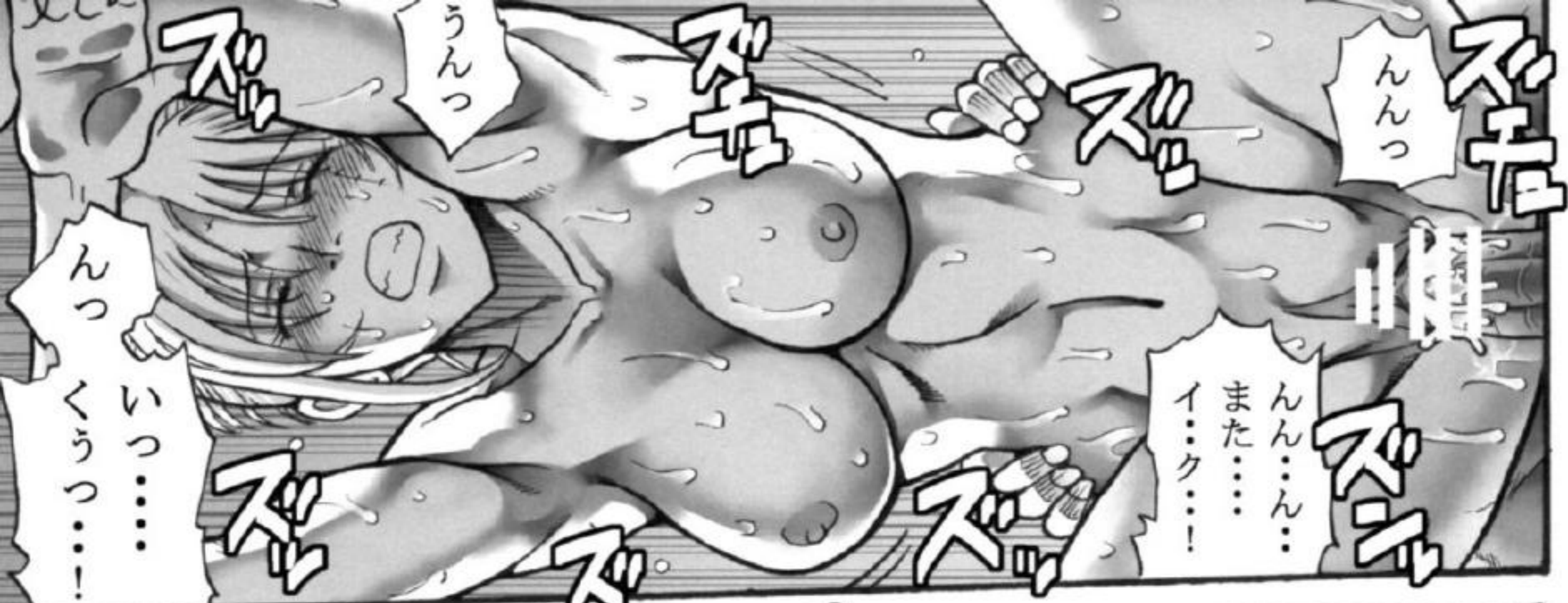
はあ

あっ

あん!

止むを得ぬ  
とはいえ  
なんたる無様









ふー

ふー

ふー

はっ

ぶはっ

何をやるか！  
人を木の洞と  
でも思うたか！

これだけ  
出せばもう  
充…分…

あ！待て！  
いかなぞっ！

くちゅ…

いかん…  
女に触れ  
られただけで  
快感が疾る

や…あ…

やめいと…  
言うておろうに  
あつ…あ…

このままでは  
抗いきれぬ

あつ

あ

あつ  
あ





ぬしが  
飲み干した  
小瓶はどこで  
手に入れた？

はあ

はあ

はあ

洞窟の部屋に  
あったけど…  
栄養ドリンク？

バカッ！  
違うわ！



んっ…っ  
随淫香とって  
強力な催淫剤  
なのじゃ

はっ  
ズッ

ズッ

よりもよって  
原液を一气飲み  
しおって…

んっ  
ズッ

ズッ



お陰で理性の  
飛んだぬしに  
犯されて…  
このっ…  
有様じゃ…

あ  
ズッ

ズッ

あ…  
とりあえずは  
このまま…んっ…  
済ませよ…

ズッ

また正気を  
失われては  
敵わぬ…

あっ



いやでも  
なんか不味く  
ないか？  
貞操感  
っ…

はあ  
あっ

ズッ

おぬしはっ…  
この状況で…!!

ズッ

よくも…っ  
ぬけぬけと！

ズッ



見られて  
おる……

あ……



はあ  
はあ

どエロい  
体してん  
なあ  
しかし……  
こいつ……

?



今更では  
あるが……

見つめられると  
恥ずかしい  
ものだな

はあ



おい  
何隠して  
んだよ

っ……  
別に……  
肌寒くなった  
だけじゃ……



こんなに熱く  
なってるのに？

はあ

はあ

少しは……んっ……  
黙ってやれ！

はい  
はい

ぬしは……  
射精する事だけ  
考えておれば  
良か……  
ろう……

あっ



おい  
成り行きで  
抱いておる  
とはいえ…

はあ

調子に  
乗るで  
ないぞ…

あ

あ

あ

はあ



そう言われても  
下がスゲー事  
なってるぞ

はあ あっ

ぬしのっ…  
せいじゃぞ!

どれだけ  
犯されたと  
思うとるか!

あっ  
あん

あっ



もう出そう  
なんだけど

中はマズい  
よなあ?

あっ

はあ

あ  
好きに  
せいっ!

もう何度も  
出されて  
おるわっ!



あぁ……あつ……  
もう……ダメじゃ……  
……ああつ……!!

はあつ……  
あぁあつ!!



どうじゃや?  
治まった  
か……?

はあ  
はあ

あぁ……  
どうにか  
な……



翌日

気まずい

この女  
さっきから  
一言も喋らねえ

昨日の事  
根に持ってる  
だろうな

どうにか  
話しとかねえと  
……

あのよお





昨日の事は  
忘れろ  
わっちも  
忘れる

お互い一夜  
限りの事じゃ

それと  
他言すれば  
殺す

お……  
おう……



わっちは  
弱い

こうして  
突き放さねば  
誘惑を断てる  
自信が無い

うっ……



?  
どうした?  
足でも  
挫いたか?

悪い……  
なんかぶり  
返して来た……  
この……

……っ



こんな所でっ……!

あつ

んっ……  
少しは  
慢っ……  
か……  
米ぬ

あ  
ぼかつ……もの!  
ああ……あつ……



ここの具合も  
良くなって  
来てるしよ

あん  
バカをつ……  
申すなあ!



声出しても  
大丈夫だって  
街道からは結構  
外れてっからよ

そうゆう  
事では……  
ん……!  
ないわ!



あれ?  
今いった?  
いったよな?

はあ  
はあ  
はあ  
うるっ……さいっ  
わっちの事など……  
どうでも……んっ……  
よかるうっ……!

あ  
あ  
あつ  
!!!!



いいじゃん  
お互い気持ち  
良いんだしよ

そう…ゆう…  
問題では…ん…  
ないわっ…！

はあ

うっ…ん…

ぬしがこれ程  
助平だとは…

あつ  
思わんかつ  
たぞ…！

はあ

あつ

全く…  
ぬしとゆう  
男は…！

ああ

ん？何？  
中に欲しく  
なっちやった？

あつ

ああつ

そんなわけが…  
あるか…このっ…

たわけめがつ！

はあ…あつ…

四の五の  
言つとらんで  
早う…んんっ…  
出さぬか…！

あんっ



あっ……

ん……

また……

遠慮なく  
出しおって  
からに……

それから  
吉原まで  
数日の帰路

ぞんぞん……

あ……

ん……

思い返すのも  
憚られる  
旅路となった



あっ さっき済ませた  
ばかりじゃろ……

あ

宿はもとより  
木陰で岩陰で  
処構わず  
求められた

はあ

あっ

わっちの不始末が  
発端である以上は  
突き放す事など  
出来るわけもなく

スッ

あん

スッ

あっ  
あ

おおー  
ハマってる所  
超エロいぜ

たわけが！  
何を  
まじまじと  
見ておるか！

あーっ  
ほぐして  
おかねえとよ

あん  
わっちは  
ええじやろう

あつ  
あつ

発情はまるで  
止む気配がなく  
昼夜を問わず  
淫蕩に耽った

あ  
あ

あ  
まだっ…  
イカぬのか?

あ  
あ

はあ  
これで…  
どうじゃ?

そうやって  
弄びおつて  
からに…

あられもない  
痴態を  
晒し続けた

はあ…  
イ…クっ…!

はあ  
わっちも  
イク…あつ…  
ああ…ああつ!



あん...

吉原は  
目と鼻の  
先じゃぞ

はっ

はっ

皆が  
心配する  
頃じゃろ

はっ



それよりも  
ホラ...

な?



もう...

こんな事  
してる場合では  
なからう...

あ

少しばかり  
手間どった事に  
すればいいだろ

おまえは真面目  
過ぎるんだよ

しょうのない  
奴じゃな...

ん...  
そうじゃな

あっ

はあ





あ！  
やつ…こら！  
何をするか！

変な事を…  
覚えさせ  
おつて…！

でも  
気持ち  
いいだろ？

あつ

や  
あつ

う…

う…む…

悪くは…  
ない…



随分と  
素直になった  
じゃねーの

茶化すな  
ぬしのせい  
じゃろ…

はあ  
はあ

あ

はあ  
あ

喜んでいいぜ  
褒めてんだ  
からよ

ん…あ…

嬉しく  
ないわ…

はあ



やべ出そう  
中に出して  
いい？

あつ…ん…  
ダメと言っても  
出すのじゃろ…

アッ

はあ  
はあ

はあ  
はあ

そんな事  
ねーよ

なら…

ダメじゃ…  
嫌だね

ダメ…

あ…



もう...  
入らぬぞ...  
んん...

あっ  
...あ...

これ以上は  
無理じゃ...

フル...

フル...

ん...あ...  
出て...る...

フルフルフル



ただひとつ  
変わった事は  
あるが—

吉原に  
戻ったわっちは  
日輪と晴太と  
平穏な日々を  
暮らせるまで  
快復した



なあーにしに  
来てんだよ

オレは  
おまえに  
用はねーぞ

おまえが  
用はなくとも  
こちらにはあるわ

吉原各所の飲み屋から  
ツケの請求が  
山と来ておるんじや  
今日こそは耳を揃えて  
払ってもらおうぞ

それと  
な……

この手は  
なんじや？

んん？  
なんだらうな

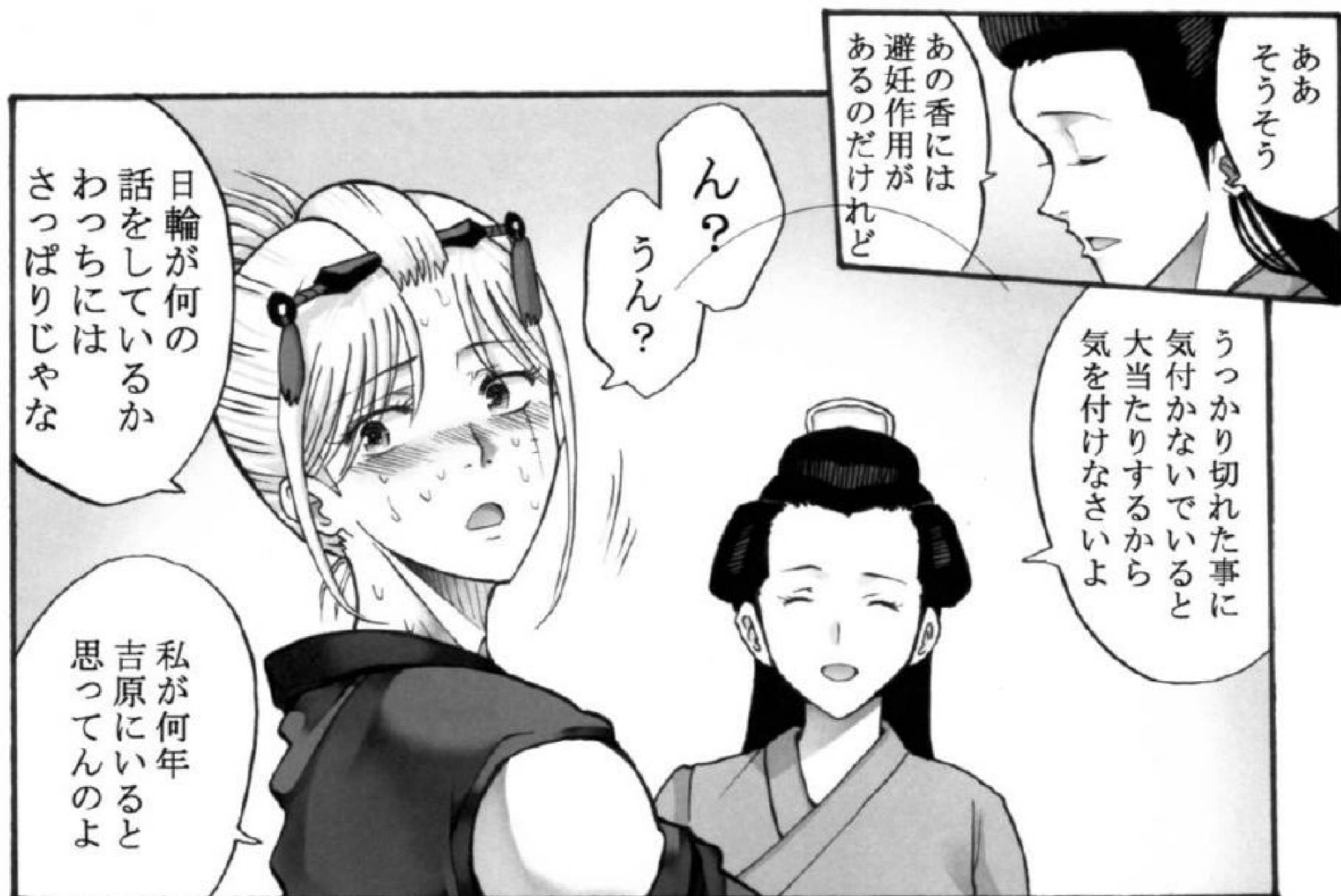
昼間から  
何を考えて  
おるか

大丈夫だって  
暫くは誰も  
来ねーから

何が大丈夫じゃ  
こらっ：  
やめぬか：

あ♡

それは  
人には言えぬ  
ような事じゃ



## 後書き

どうも、ホリエです。

長々と続いたシリーズもこれでひとまず終わりです。長い間お付き合い頂きましてありがとうございました。これも偏に原作が超ロングランしてくれてるお陰でしょう(ニヤ)

一応サークル活動的に一段落ついて次何すんのかって話なんですが、NTR同人を謳いながらも今回の最後が腹ボテエンド出来なかったのは描いてる途中で「これ、綺麗に終わらせれば次はもっとドエロいの描けるやんけ」と思いついてしまったからなのです。

ところがだからといって次にそれを描くのかと問われれば微妙な所です。行政からのいろんな規制でエロ同人やっていくのが年々難しくなっているのが業界の実情なのです。

同人活動自体は続けるのですが、二次創作なのかオリジナルなのかとゆう部分でちょっと考えないといけないなあって思っていたりします。

何はともあれ今後も細々と描いて行きますので見掛けた折には今までと変わらぬご愛顧を宜しくお願いします。それでは。

## 奥付

月詠さんがいやらしい事をされてしまう話5

発効日 2015年7月20日 発行 かつおぶし 著者 ホリエ 印刷 上野印刷所  
HPURL <http://horihorihori.blog.so-net.ne.jp/>  
メールアドレス horieug@jn3.so-net.ne.jp